



- 2 エッセイ／“おかね”を語る
思い出の「マンボウマブゼ共和国」紙幣
 エッセイスト 斎藤由香



- 4 インタビュー／扉を開く
すべてをサッカーに捧げる
 サッカー元日本代表・日本プロサッカー選手会名誉会長 中山雅史



- 16 対談／守・破・創
グローバル化の進展が日本の音楽界を大きくする
 指揮者 大友直人
 日本銀行政策委員会審議委員 木内登英



- 20 日本銀行の支店建物 [4]
日本銀行旧京都支店 日本銀行文書局技師 中村茂樹

- 24 FOCUS → BOJ ⑧ 日本銀行金融機構局「考査」の仕事
金融機関の健全な経営を支える

日本銀行のレポートから

- 28 「経済・物価情勢の展望」(展望レポート) —2013年4月—

- 32 「金融システムレポート」—2013年4月—

- 36 トピックス
日本銀行新総裁、新副総裁就任 ほか

- 39 AIR MAIL from MANILA
フィリピンの食文化

表紙のことば

日本銀行金沢支店は、北陸地方の金融円滑化を図るため明治四十二年(一九〇九)三月、出張所として開設され、二年後の明治四十四年(一九一〇)には、全国で九番目の支店に昇格しました。

今回表紙に掲載した現在の店舗は、昭和二十九年(一九五四)八月に竣工。鉄骨・鉄筋二階建てのシンプルな建物で、開設当初と同じ、金沢市中心部の香林坊こうりんぼにあり、街のシンボルの一つとなっています。

支店の敷地は、加賀藩重臣(前田利家公の奥方まつの実家)の屋敷跡であり、戦国時代までは金沢最古の神社の社地であったと言われています。その歴史を物語るように、敷地内には推定樹齢約五〇〇年の常緑樹タブノキの老木が立ち、神木しんぼくとして市民にも親しまれています。

明治の開業以来、金沢支店は、ビジネス街、商業街、武家屋敷街を結ぶ「ハブ」の位置にあって、市民との一体感を大切にしながら時を刻んでいます。



表紙・画 北村公司